



3 出来形及び出来ばえ

[検査職員]

I. 出来形

良	可	不可
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

無 【出来形管理表（管理図含む）の充実度】  
 適切な出来形施工管理計画が提出されている。  
 出来形管理総括表、および出来高数量総括表が適切である。  
 管理項目（測点、変化点および測定値等）に不足がなく、その内容も充実している。  
 工程能力図（グラフ）の充実度（測点数が10点以上の場合必要）  
 ※出来形管理表や出来形展開図と現場実測値との合致度（抽出したものでよい）

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【出来形管理写真の充実度】  
 作業工程（作業の流れがわかりやすい）  
 適正な施工状況（各種作業）  
 不可視部（基礎基面、根入れ、裏込め、鉄筋、杭頭、地中改良、構造物の背面、水没埋没、撤去物 など）  
 検寸状況（テープの張り方、目盛確認、計画と実績表示、黒板の表示内容と設置状況 など）  
 写真の鮮明度及び説明欄の充実

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【出来形測定への配慮】  
 ※現場表示（測点、墨上げ、展開図表示 など）  
 ※受注者作成の出来形展開図の出来栄え（測点、測線、設計値、実測値、差の値、コアの採取位置、B試験の位置、区画線の刻印位置などの記載）

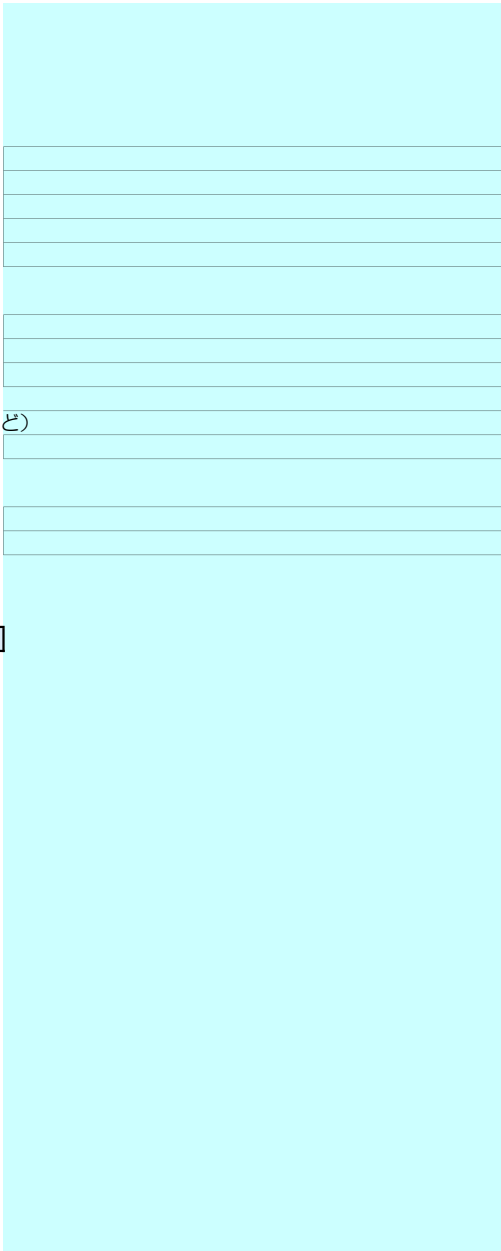
(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) =  % 判定

(項目が少ない場合は特例を使用してください)

- 該当項目が80%以上..... a
- 該当項目が60~80%未満..... a'
- 該当項目が40~60%未満..... b
- 該当項目が20~40%未満..... b'
- 該当項目が0~20%未満..... c
- 該当項目が-40~0%未満..... d
- 該当項目が-40%未満..... e
- 直接入力  重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。..... d
- 直接入力  \*出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。..... d
- 直接入力  \*手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。..... d
- 直接入力  \*実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。  
..... d (手直し指示書)
- 直接入力  \*実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。  
..... e (手直し指示書+再検査)

【出来形の少数項目の特例】 (施工状況評価項目数が4個以下では下記で評価を行う)  
 品質評価項目数=   
 特例適用判断→

- 該当項目が40%以上..... b
- 該当項目が-40~40%未満..... c
- 該当項目が-40%未満..... d











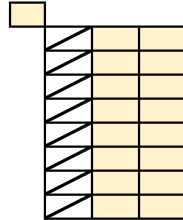




1.4 舗装工  
良 可 不可

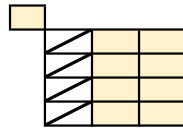
※路盤厚は不陸整正厚に読み替え

無



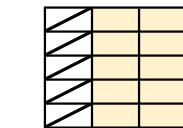
【路盤工】

- 路盤材が良質であるのが資料や写真等で十分確認できる。
- 路盤厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
- 路盤厚が工事写真で明確に確認できる。
- 路盤の施工幅が写真で明確に確認できる。
- 路盤厚の掘り起こしによる管理で所定の個数を実施しているのが明確に確認できる。
- 路床・路盤の転圧が十分であることが施工写真で十分確認できる。
- 所定の現場密度の測定を実施し、その結果も適正である。
- 下層路盤工（路床）のブルーローリングを実施しているのが写真および資料で確認できる。



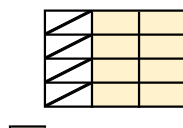
【アスファルト舗装工】

- 舗設状況が適正に行われているのが写真で十分確認できる。
- As混合物の出荷時、舗設時の温度、並びに交通開放時の表面温度が適切に管理されている。
- 舗装厚の管理を実施しているのが明確に確認できる。
- ※コア（現物）の目視により、厚さ、骨材、締固めが適正であるのが確認できる。
- 現場密度試験により密度を確認できる。（その十分な資料がある。）
- アスファルト量及び粒度分布が適切である。
- 乳剤散布量が適正であるのが、写真や資料で確認できる。
- ※隅々まで丁寧に転圧され、隣接構造物に損傷等を全く与えていない。
- ※排水性・透水性舗装の場合、排水ドレーン管等の適切な設置が写真で十分確認でき、透水性が良好であることが試験結果および現地試験で確認できる。
- ※平坦性が確保されているのが、平坦性試験および現地の状況で確認できる。
- 表層と基層及び加熱アスファルト安定処理層の各層の打継目のずらし位置が適切である。
- 舗装表面にあばたやローラーマークなどがなく良好に仕上げられている。
- 人孔蓋等がある場合、すり合わせが良くむらなく（凹凸なく）仕上げられている。



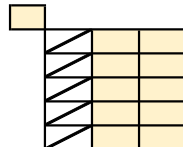
【ブロック舗装工（インターロッキング、平板、レンガ、自然石等）】

- 基礎面が適切に施工されているのが、写真で十分確認できる。
- ※ブロック舗装の据付は所定の表面勾配が得られている。
- ※施工目地が丁寧に仕上げられている。



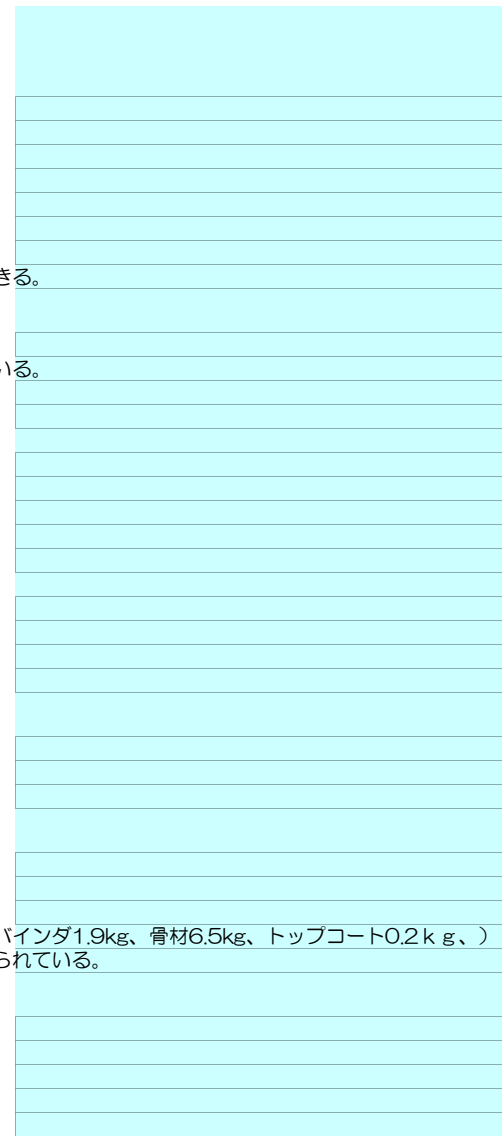
【薄層カラー舗装工（すべり止め舗装、樹脂系舗装含む）】

- 施工に先立ち基盤面の有害物を除去しているのが、写真で十分確認できる。
- 使用材料が適正であることが、資料等で十分確認できる。
- 各施工状況が写真で十分確認できる。
- 塗布量の空袋（缶）管理が、写真及び出荷伝票等で十分確認できる。（m<sup>2</sup>当り、樹脂系バインダ1.9kg、骨材6.5kg、トップコート0.2kg、）
- 舗装表面に、割れ、ふくれ、浮き、剥がれ等がなく、骨材の粗さもなく、良好に仕上げられている。



【区画線工】

- 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
- 塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが写真で十分確認できる。
- 施工状況が適正であるのが確認できる。
- ※塗膜厚の測定結果が記録されており、現地で十分確認できる。
- ※刻印を打設しているのが写真や現地で確認できる。





19 各種製品設置工

良	可	不可
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		

無

- 基礎部（基礎コンクリート、削孔、取付具等を含む）の施工が適正なのが写真で十分確認できる。
- 施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。
- ※製品が製品仕様書等で定められたものと合致しており、良質である。
- ※設置状況が適切であり、所定の機能が確認できる。

20 鋼構造物（鋼橋含む）

良	可	不可
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		

無

- 鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
- 有資格者による溶接の実施に関する書類と現地施工の関連性が十分確認できる。
- ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
- 支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
- ※溶接に不十分な箇所がなく適正に行われているのが確認できる。
- ※ボルトの締め付けが適正に行われているのが資料や写真で確認できる。
- ※使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で十分確認できる。
- 各種部材の架設が適正に施工されたのが写真で十分確認できる。
- 各種試験が適正に実施されたことが、写真や資料で十分確認できる。

21 コンクリート橋

良	可	不可
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		

無

- プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。
- 緊張管理が適切に実施されていることが確認できる。
- グラウト注入管理が適切に実施されていることが確認できる。
- プレストressing時のコンクリート強度を確認していることが確認できる。
- 支承の施工が適切に行われたことが写真で十分確認できる。
- 桁架設が適正に施工されたのが写真で十分確認できる。

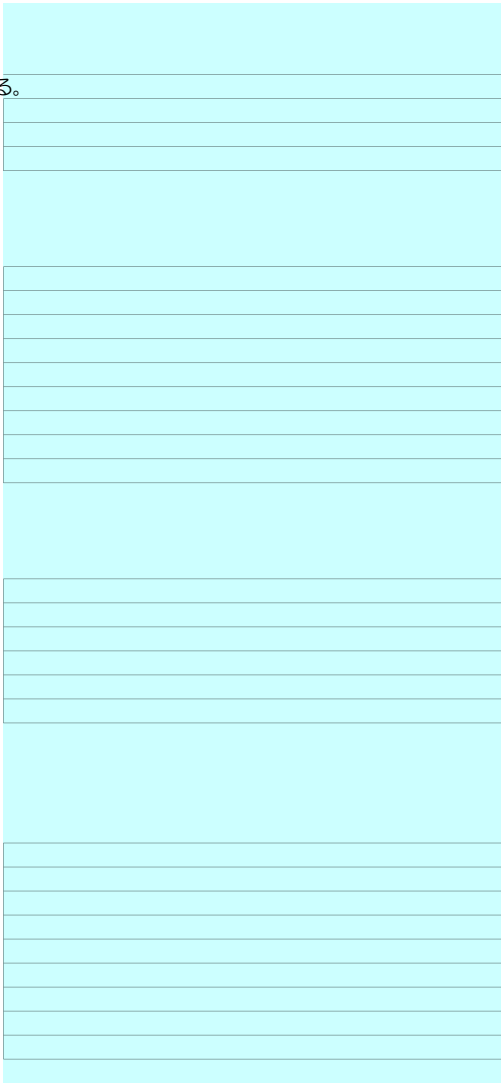
（コンクリート施工関連は「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）

22 橋梁付属工・補強工

良	可	不可
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		
斜線		

無

- クラック・剥離状況等の事前調査をしたことが資料で十分確認できる。
- 各工種の施工手順が写真で十分確認できる。
- 足場・支保工が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。
- 削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
- ※伸縮装置が適切に施工されていることが十分確認できる。
- 橋面防水が適切に施工されていることが十分確認できる。
- ※落橋防止施設が適切に施工されていることが十分確認できる。
- 補強材が良質であることが資料や写真で確認できる。
- ※補強材の接着等適切に施工されていることが写真および現地で確認できる。

















4.6 機械・電気設備工事(下水道施設のみ)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
  - 製造者による試験が適切に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
  - 施工完了時の試験及び記録が適切である。
  - 品質管理計画による品質管理記録が整備されている。
  - 不可視部分の写真記録が適切である。
  - 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。
  - 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。

4.7 橋梁における耐震補強・補修工事(共通工)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- 使用材料が設計図に示されている要求性能を満足することが確認できる。(炭素繊維シート、コンクリート、ひび割れ注入材、高欄、伸縮継手、塗装仕様等)
  - 使用材料(硬化剤、助剤含む)の品質証明書が提出されている。

4.8 橋梁耐震補強工事(炭素繊維シート工)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- 下地処理が適切に行われている。
  - 飛散防止処置が適切に行われている。
  - 補強材(炭素繊維シート)は、施工中1回以上の付着強度試験を行い、その品質を確認している。
  - 補強材(炭素繊維シート)にふくれ、剥離、端部のめくれ等がない。
  - 継手部は所定の継手長が確保されている。
  - 継手位置が適切に配置されている。
  - 定着材(アンカー等)は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
  - 使用材料(硬化剤、助剤含む)は気象条件に適した使用量、使用時間等の管理が行われている。
  - 使用材料(硬化剤、助剤含む)の入荷及び空袋で検査員の立会が行われている。
  - 積層部について、各層ごとに適切に写真管理が行われている。

4.9 橋梁耐震補強工事(RC巻立工)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- アンカー工の削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
  - 下地処理が適切に行われている。
  - アンカー工は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
  - 全体的に増厚幅を確認している。
  - 打設直後の初期ひび割れがない。

5.0 橋梁補修工事(コンクリート橋補修工)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。
  - ひび割れ注入材の注入量が確認できるような適切な管理が行われた。
  - 使用材料(硬化剤、助剤含む)の入荷及び空袋で監督員の立会が行われた。
  - 断面修復の際、鉄筋の錆を確実に落とし、鉄筋の裏面まで防錆材による処置が施されていることが確認できる。

5.1 橋梁補修工事(鋼橋補修工)

良	可	不可
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■
■	■	■

- 無
- 塗装に含まれる成分を把握するとともに、環境省令で定められる判定基準に対し、有害(PCB、鉛、六価クロム)と判断された場合、適切に剥ぎ取り方法が選定されている。
  - 塗装に含まれる成分に応じ、剥ぎ取った塗装は適切に廃棄手続きが行われている。
  - 飛散防止処置が適切に行われている。
  - 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。





